

幼児の造形表現について（1）

－子ども向け行事ポスターに対する保育者の関わり方－

岡本 直行^{1)*}

1) 新見公立短期大学幼児教育学科

(2017年11月15日受理)

愛媛県内I幼稚園の5歳児を対象に、子ども向けポスターを見た子どもの意識が、ポスターの要素の何に向くかについて、観察・聞き取り調査を実施し、保育現場で制作する子ども向けポスターに必要な要素を見出し、ポスターを用いた子どもの表現活動（鑑賞）の可能性について検討した。

その結果、子ども向け行事に必要な要素は、画面を構成するモチーフ（キャラクター）、色彩、レイアウト、文字情報と考えられた。子ども向けポスターを制作する際に、これらの要素を盛り込み、子どもに伝えたい内容を効果的にレイアウトすることによって、子どもの興味を引き、形の面白さや色の美しさを感じる子どもの感性を育むことに繋がると考えられる。

また、子ども向けポスターが、画面の中のものを探す遊びやそこから連想する感情表現、知っていることを話す遊び等に発展する可能性もある。これらの遊びは、近年、子どもの造形表現で重要とされる「鑑賞の指導」にも繋がるものと考えられる。

（キーワード）造形表現、ポスター、幼児、鑑賞教育

I. はじめに

ポスターとは、人々に伝達したい内容を一定範囲の紙面等に文字や写真、イラストで表現した広告媒体のことである。ポスター制作には欠かすことのできない要素がある。まず、「人目を引き付ける力がある」ことであり、そのためにレイアウトに創意工夫を凝らす等インパクトある作品作りを心掛ける必要がある。この点については、文字や写真以外の必要な要素として、デザイン会社や広告業者が重視している。また、「何を訴えているかがわかる」ことを重要な要素としてホームページに挙げるデザイン会社も多くみられる。

これらの要素を紐解くと、文字や記号、色彩、形（図案やキャラクターを含む）等を効果的に構成し、バランスよく配置することが求められると考えられる。特に色彩の選択やバランスはポスターの視認性に大きな影響を及ぼすといえる。先行研究「優秀ポスターを構成するデザイン要素の研究」では、ポスターに必要とされる8つの要素を配したポスターを見た被験者の視線追跡実験の結果、人が注目するポスターの要素は、①色彩②文字③記号④図案⑤立体⑥空間⑦構図⑧対比の順であったことが報告されている。

保育現場において行事のポスターを制作する場合にも、これらの要素をもとにポスター制作が実施されることが考えられるが、子どもの視線に沿ったポスターとなった場合に

は、要素に差が生じる可能性もある。

そこで、本研究では子ども向け行事ポスターをもとに、それを見た子どもの反応や感想から、子どもに伝わるポスターの要素を見出すことと、その要素を使用したポスター制作を通して、子どもに色彩の美しさや形の面白さを味わう心を育む表現活動（造形表現における鑑賞）の可能性について考えることを目的とする。

II. 子ども向けポスター作品の概観

ここで紹介するポスターは、A短期大学幼児教育学科の学生がB市の「まなび広場にいみ」にて行った、表現発表会「にいみこどもフェスタ」のポスターである。ポスターには、発表会のタイトルや開催日、開催時間、プログラム等の情報と演目の内容や雰囲気伝えるイラストを配している。子ども向けの表現発表会であることから、文字情報の大半を平仮名表記とした。また、演目のタイトルや雰囲気を想像できること以外に、楽しそう、行ってみたい、この話を知っている等の親近感を感じられる、また、心に残るポスターとなることを目指し、色彩やキャラクター、文字のレイアウトに留意して制作した。制作にはグラフィックデザインソフトウェアであるCorelDRAWを使用した。

*連絡先：岡本直行 新見公立短期大学幼児教育学科 718-8585 新見市西方1263-2

①「にいまこどもフェスタ2007ポスター」

はなさかじいさん

劇「はなさかじいさん」をモチーフに画面を構成した。劇のエンディングで桜の花が満開になるシーンでは舞台だけでなく、客席を含む会場全体を花のピンク色で染め上げる演出があり、その雰囲気伝えるために背景を花卉で埋め尽くし、花の溢れる情景と明るい色調で華やかさを表した。その桜の花が一輪ずつ咲く情景を、花卉一枚一枚の色にグラデーションを施し、立体感を持たせることで表現している。また、画面に奥行きが感じられるように画面右上に小さな花卉を配置し、画面左下に流れるにつれて拡大するようにレイアウトし、桜の花が次々と途切れなく咲いていく様は、花の線で弧を描くよう連続して配置し、ムーブメントを出した。その画面と調和を取るため、発表会のタイトルである「にいまこどもフェスタ2007」の文字を蛇行させている。その他、劇中のキャストとして、灰をまくおじいさんを画面左上に、犬のシロを画面左上にシンメトリーに配置した。

②「にいまこどもフェスタ2008ポスター」

つるのおんがえし

劇「つるのおんがえし」をモチーフに画面を構成した。物語が物静かで素朴であるため、背景に和紙や千代紙の模様を取り入れ、懐かしく落ち着いた雰囲気表現した。また、物語では雪の風景が多く見られるので、その天候を和紙の模様を白、背景色をダークブルーの地味な色調で表現した。画面の半分を白い鶴で占めるようにレイアウトし、主体の大きさと背景との面積対比、背景色のダークブルーと鶴の白との色の対比等を利用してインパクトが出るよう配慮している。和紙の模様で構成した背景や鶴に立体感をつけず、平面構成とすることで、素朴さや懐かしさが増長されるよう留意した。

III. ポスターに対する子どもの反応

本研究に取り上げたポスターを5歳児の子どもに見せ自由に感想を述べてもらうインタビュー形式で、子どもが気になるポスターの要素を調査した。対象は、愛媛県I幼稚園に在籍する5歳児25名である。子どもたちの反応は以下のとおりである。使用したポスターは、前述した「はなさかじいさん」と「つるのおんがえし」の2枚である。この2枚を使用した理由は、色彩や立体感、レイアウト等に明確な差があるものであり、「はなさかじいさん」には、明るさや華やかさ、立体感や奥行き感、温かさ等を、「つるのおんがえし」では暗さや素朴さ、肌寒さ等を感じてもらえたと考えたからである。

①はなさかじいさんのポスターに対する子どもの主な感

想(抜粋)

- ・花がいっぱいあって綺麗、桜の花がいろんな色で綺麗、桜の花がキラキラしている
- ・桜の花が咲いている、桜の花を見たことがある、桜の花を知っている
- ・花がだんだんこっちに来ている、花がだんだん咲いている、花に大きいのと小さいのがある、おじいさんが向こうにいる
- ・おじいさんとシロがいる、おじいさんが花をまいている、おじいさんが灰をまいている
- ・花がいっぱいでおじいさんもうれしい、おじいさんが笑っている
- ・花を咲かせるおじいさんをシロがみている、いっぱい桜の花をシロが見ている、シロが驚いている
- ・花咲か爺さんのお話を知っている(物語を詳細に語る子どももあり)
- ・はなさかじいさんと書いてある(読むことのできる文字についての反応)

はなさかじいさんのポスターを見た子どもの感想には、画面に何があるかというキャラクターや文字に注目したものや桜の花の色彩や雰囲気に関するもの、画面構成の奥行き、立体感に関するもの、桜の花や物語を自分が知っているという主張に関するもの、おじいさんや犬のシロの動向や気持ちに関するもの等が見られた。特に子どもからの感想が多かったのは、キャラクターや物語を知っているということであり、次に桜の花等の色彩に関するもの、画面の奥行き(構図)に関するものであった。中には、キャラクターがうれしそうである、驚いているといった感情についての感想もあり、子どもの感受性の高さに驚かされた。また、知っている平仮名を口にする子どももいた。

②つるのおんがえしのポスターに対する反応(抜粋)

- ・大きな鶴がいる、鶴が羽を広げている、鶴が飛び立とうとしている
- ・なんだかこわい、色が黒い、暗い
- ・さむそう、鶴が寒がっている
- ・鶴を見たことがある、知っている、
- ・(背景に)いろんな模様がある、白いお花がある
- ・鶴が恩返しをする

つるのおんがえしのポスターを見た子どもの感想には、はなさかじいさんの時と同じように、画面に何があるかというキャラクターや文字に注目したものや背景の色彩や雰囲気に関するもの、鶴や物語を自分が知っているという主張に関するもの、鶴の動向に関するもの等が見られた。特に子どもからの感想が多かったのは、キャラクターや

物語を知っているということであり、次に背景の色が怖い、暗い等の色彩に関する事、背景の模様に関する事であった。中には、「寒い」「キャラクターが寒がっている」といった体感温度や感情についての感想もあった。また、はなさかじいさんと同様に知っている平仮名を口にしている子どももいた。

この調査から、ポスター等を見た子どもの意識が最も集まるのは、登場するキャラクター等のモチーフであり、画面のモチーフに知っているものを発見すると、それを主張する行為は、子どもの描画の発達における「カタログ期」に見られる、知っていることを描画するのと同様の表現と考えられる。

「おじいさんも嬉しい」「シロが驚いている」等の感想からは、その表情や姿勢、色等から、何をしているのか、どのような感情を持っているかを推測していると考えられる。また、画面構成の色からは、「色がきれい」「暗い」といった色味に対する直接的な感じに加え、「キラキラしている」「暗い」「こわい」「寒い」等、色から想像されるイメージや体感温度等を感じていることがわかる。

これらの点から、子どもは画面を構成するものの色彩から色彩学でいう各色のイメージをつかみ、色のイメージとキャラクターの姿形と融合させて、キャラクターの感情を推測していると考えられる。

レイアウトでは、「花がこっちに来る」という感想に見られるように、モチーフの大きさやムーブメントによって、遠近感が感じられている。また、「花がだんだん咲いている」という感想から、小さい花から大きな花に連続する構成が花の咲く時間経過まで感じさせていると推測される。

以上の調査結果から、子ども向けポスターに有効な要素は、①画面を構成するモチーフ（キャラクター）やポーズ②モチーフや背景の色彩③レイアウト④文字等の情報、であると考えられる。また、子ども向けポスターが、画面の中のものを探す遊びやそこから連想する感情表現、知っていることを話す遊び等に発展する可能性もある。これらの遊びは、近年、子どもの造形表現で重要とされる「鑑賞の指導」にも繋がるものと考えられる。

IV. まとめ

子どもを対象に、画面の雰囲気には大きな差のある子ども向け行事ポスターを見せ、子どもの意識が何に向くのかという調査から、子ども向けポスターに必要な要素について考えた。また、ポスターを用いた子どもの表現活動（鑑賞）の可能性について検討した。

その結果、子どもの意識が最も集まるのは、登場するキャラクター等のモチーフであり、特に、知っているものを

発見すると、それを主張することがわかった。また、キャラクターの表情や姿勢、色等から、キャラクターの行動や感情を推測し、画面構成の色からは、色から想像されるイメージ、体感温度等を感じていることがわかった。子どもは画面構成の色彩から各色のイメージをつかみ、キャラクターと融合させて、キャラクターの感情を推測していると考えられる。

画面のレイアウトに関しては、モチーフの大小やムーブメントを効果的に活用することによって、遠近感を感じさせることができることがわかった。また、同じ形のモチーフの大きさを変化させながら連続して構成すると、時間経過を感じさせることができると推測された。

以上の結果から、子ども向け行事ポスターに必要な要素は、画面を構成するモチーフ（キャラクター）、色彩、レイアウト、文字情報と考えられる。子ども向けポスターを制作する際に、これらの要素を盛り込み、子どもに伝えたい内容を効果的にレイアウトすることによって、子どもの興味を引き、形の面白さや色の美しさを感じる子どもの感性を育むことに繋がると考えられる。

また、子ども向けポスターが、画面の中のものを探す遊びやそこから連想する感情表現、知っていることを話す遊び等に発展する可能性もある。これらの遊びは、近年、子どもの造形表現で重要とされる「鑑賞の指導」にも繋がるものと考えられる。

V. 参考文献

- 1) 楊火玄 謝顯丞 優秀 林耕儀 楊子霆：優秀ポスターを構成するデザイン要素の研究，デザイン学研究，日本デザイン学会，14-15，2009
- 2) 川部大輔：北海道子ども学会大会ポスターデザインにおける視覚伝達効果の検証と総括，北星学園大学短期大学部北星論集15号，53-63，2017
- 3) 加藤之敏：イラストレーションとデザイン基礎教育，常葉大学造形学部紀要，61-69，2016
- 4) 三井直樹 三井秀樹：色彩デザイン学，六耀社，2009

新見公立短期大学
幼児教育学科
第16回表現発表会

にいみこどもフェスタ 2007

まなび広場にいみ
創作ダンス 「忍者☆参上！」
ミュージカル 「しらゆき姫」
歌 「あ～した天気にな～れ！」
劇 「はなざかじいさん」

2007年2月24(土)
午前 10時00分～12時00分
午後 2時00分～4時00分
(2回 講演。どちらも30分前会場)
※今までより開演を30分早めました。
お間違えのないようご来場ください。

平成18年度特色GP選定
-実践力が保育者養成システム-の取組、
及び卒業研究ポスターセッション

午後 0時30分～1時30分

インターネットによるライブ配信でもお楽しみいただけます。(http://www.niimi-c.ac.jp/index.html)
主催 新見市・新見市教育委員会 共催 新見公立短期大学 (0867-72-0634)

入場無料
親子室もあります

図1 「にいみこどもフェスタ 2007 ポスター」

新見公立短期大学
幼児教育学科
第17回表現発表会

平成16年度・18年度文部科学省特色ある
教育支援プログラムに選定されました

にいみこども フェスタ2008

まなび広場にいみ

ミュージカル「そうじの園のクリスマス」
歌「春・夏・秋・冬そして春」
劇「つるのおんがえし」
創作ダンス「ぼくらの船！」

2008年2月23 (土)
午前 10時 00分 ~ 12時 00分
午後 2 時 00分 ~ 4 時 00分
(2回講演 どちらも30分前会場)
平成18年度特色GP選定
-実践力が保育者養成システム-の取組、及び
卒業研究ポスターセッション
※ 地域福祉学科卒業研究ポスターセッション
も同時開催します

午後 0 時 30分 ~ 1 時 30分

入場無料
親子室もあり

インターネットによるライブ配信でもお楽しみいただけます。(http://www.nimi-c.ac.jp/index.html)
新主催 見新見公立短期大学 (0867-72-0634) 市・新見市教育委員会 共催

図2 「にいみこどもフェスタ 2008ポスター」

